

# 物価高水準ついへ

5月都区部

総務省が27日発表した5月の東京都区部消費者物価指数（中旬速報値、2020年リ=100）は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が101・15と、前年同月比1・9%上昇しました。9カ月連続のプラス。上昇率は消費税増税の

影響があった15年3月（2・2%）以来、7年1カ月

ぶりの高水準を記録した前月と同じでした。原油高や食料の値上がり、田畠で高い伸びが続いています。

エネルギー価格全体は22・3%上昇。このうち、都市ガス代が25・8%、電気代は23・0%、ガソリンも11・6%、それぞれ上昇しました。

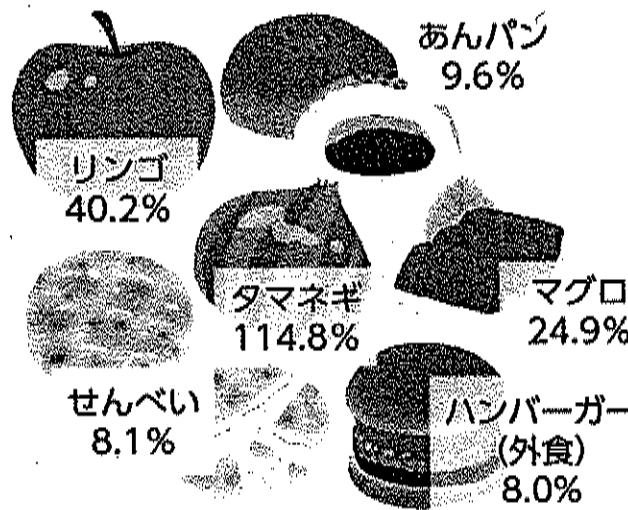
## エネルギー22.3%

## 食料品4.2%上昇

食料品は前年同月比4・2%上昇。タマネギは前年

同月の2倍以上に上りました。マグロ、リンゴなどの生鮮食品のほか、ハンバーガーなどの外食やアンパン、せんべいなどの上昇も目立ちました。一方、携帯

電話（通信料）は22・5%下落。昨春始まった携帯大手の格安料金プランによる押し下げ効果が一巡し、今年3月に比べると下落率は前月に続き大幅に縮小しました。



食料品値上げで食卓がピンチ！  
(前年同月比上昇率)

東京都区部の指標は全国消費者物価指数の先行指標とされます。